

2023年2月10日
西日本旅客鉄道株式会社

機関車のATS-P装置の曲線に対する速度の設定値が誤っていた事象について

機関車の一部車両において、ATS-P装置の曲線に対する速度の設定値が計画値より高くなっていたことが判明しました。

皆さまにご心配をおかけすることとなり、大変申し訳ございません。今回策定する対策を確実に実施し、再発防止に努めてまいります。

1. 概要

2023年1月19日、新設線路の切換工事に伴うATS-P装置の動作確認を行っていたところ、機関車の一部車両においてATS-P装置の設定データに誤りがあることが判明しました。

詳細な確認を実施したところ、2011年の省令改正による機能の追加に伴い、曲線に対する速度の設定値が計画値より高い状態となっていたこと（+5km/h～+30km/h）が判明しました。これは、2002年に設定したデータに入力誤りがあったためです。

2. 該当車両

車両形式：EF65（5両）、EF81（1両）、DD51（5両） 計11両

3. 原因

該当車両のATS-P装置に誤った設定データが入力されていましたが、その後、当社の確認内容に不足があり、誤りに気付くことができなかったためです。

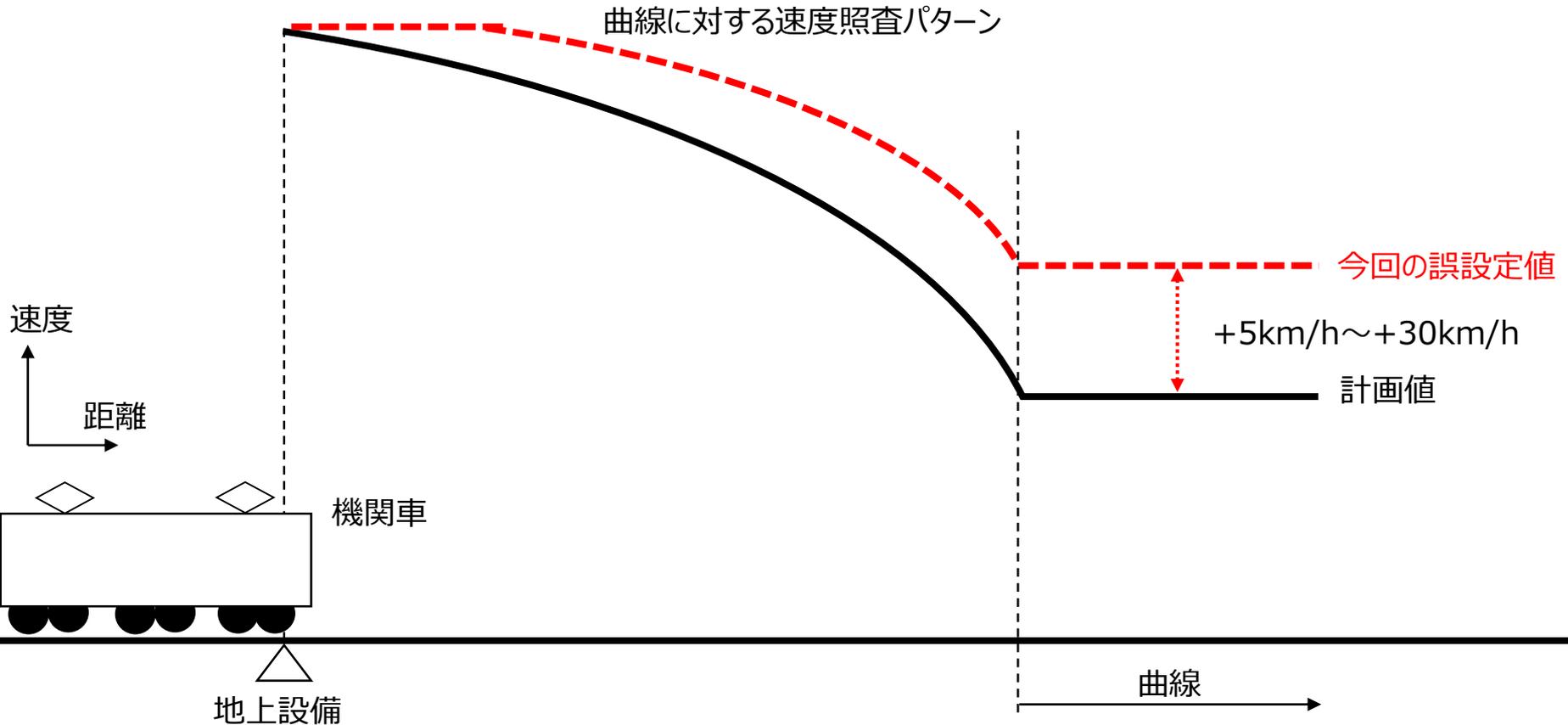
4. 対策

- ・判明後ただちに、該当車両の使用を停止し、正しい設定値に改修しました。
- ・今後の対策として、受取検査時の確認方法を見直し、機器の機能確認を確実に実行してまいります。

当該機関車のATS-Pの設定データ誤りについて

【ATS-Pの曲線の機能概要】

列車の速度を連続的にチェックし、必要に応じて自動的にブレーキを動作させることにより、ブレーキをかけずにそのまま運転した場合でも、曲線に対して減速させるシステム



- 車両形式ごとに、曲線に対する速度照査パターンを定めている。
- 設定を誤ったため、速度照査パターンの差（+5km/h~+30km/h）が生じる状態となっていた。